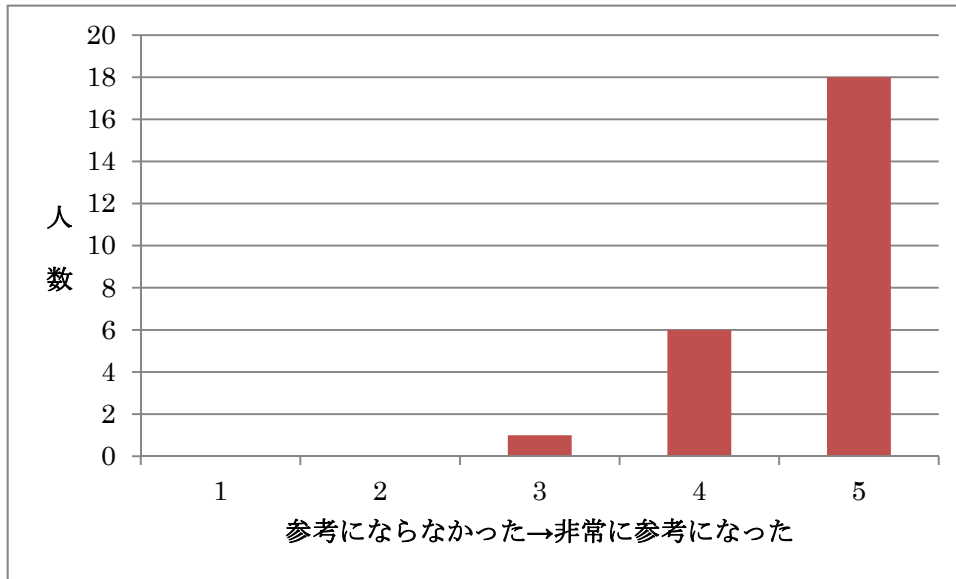


平成25年度 認証研修会(大阪) アンケート集計

平成26年2月20日(木)～21日(金)

1. 今回の研修会は、今後の酪農教育ファーム活動の参考になりましたか？



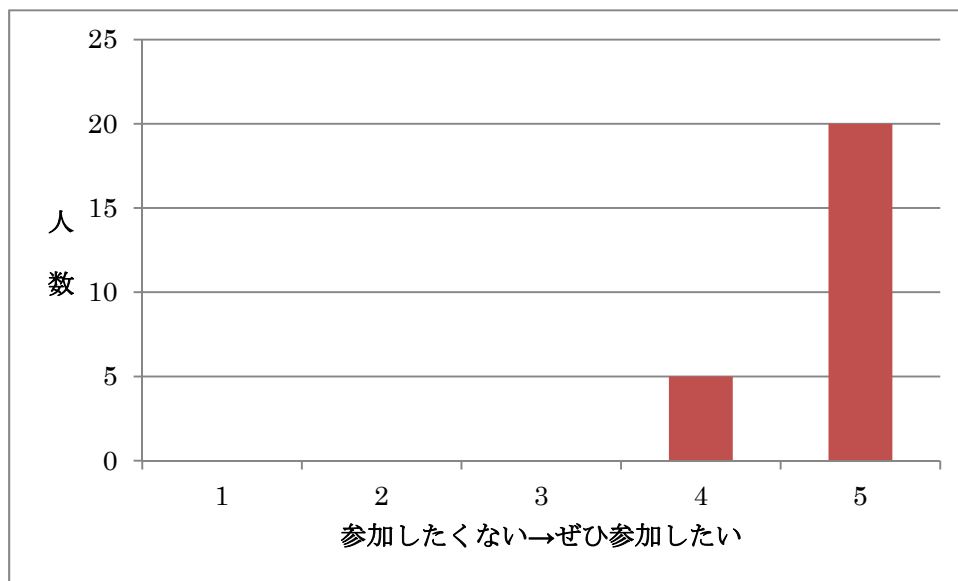
① 上記1の質問で、どのような内容が参考になったのか、あるいはならなかったか、その理由をお聞かせください。

- ・いろいろな人と濃い話が出来た。
- ・防疫上の対応について、取り組むべき内容、牧場サイドのみではなく消費者へ伝えることが必要と思う。
- ・実行を行っている人、今からの人がいて、大変みんな興味を持って話していた。
- ・防疫対策をもっとしっかりしなくてはと思った。
- ・理解不十分なところが多々あってすごく勉強になった。衛生管理をもっと改善していかないと、お客様への説明や表示、しっかりしていこうと思った。いろいろな方の話を聞くことができてよかった。
- ・DVDを見たあとの意見交換は、様々な人の考えが聞けて参考になった。
- ・酪農教育ファームは、動物に触れ合うことで楽しんで勉強できる空間を提供しているという感じでした。けれど、そのためにも必要なことがたくさんあって、そこまでしないといけないのかと驚きもありました。私が働いている山田牧場は、まあまあできていると思っていたのですが、話を聞いていると全然できていないことを実感した。消毒は必ずしようと思います。来場者の方にも最後まで楽しんでいただきたいと思いますので、最初に説明して来場者にも理解してもらって、互いに協力していかないと酪農教育ファームは成り立たないと思った。
- ・吉田さんが実際にやっていることや今回集まった方々の牧場のことから、今後自分がやらなくてはいけないことをみつけることができた。O-157対策なども大いに参考になった。
- ・手洗いや消毒の大切さを改めて知ることができた。感染予防のためにも手洗い場の設置や消毒層の設置など、できることからやっていきたいと思った。牧場でも活かしていきたい。
- ・子どもに酪農について伝える上で、体験をさせるということが大事であり、ファシリテーターの役割はこの支援をしていくことだと思う。防疫や消毒は十分気をつけないといけない。
- ・酪農教育ファームファシリテーターが、具体的にどんな活動をするのかももう少し知りたかった。ファシリテーターに視点をあてたDVDを見てみたかった。
- ・マッピング、皆の意見やアイデア。
- ・ファシリテーターの役割。食といのちの大切さに気づいてもらうために支援すること。
- ・自分の抱いていたファシリテーターや教育ファームのイメージが、だいぶはっきりと描けた。私も子どもたちへ動物の温かさや大切さを教えたいと思っていたのですが、漠然としていたことを改めて思った。六甲山牧場では、今後教育ファームに力を入れていくので、消毒などをしっかり見直してもう一度していきたい。今回の研修会はスタート地点に立った気持ちにさせてもらったので、すごく良い機会だった。
- ・O-157についての知識が増えたのはよかった。今までよりはもっと危機感をもつことができた。いろん

な人と話すことが良かった。

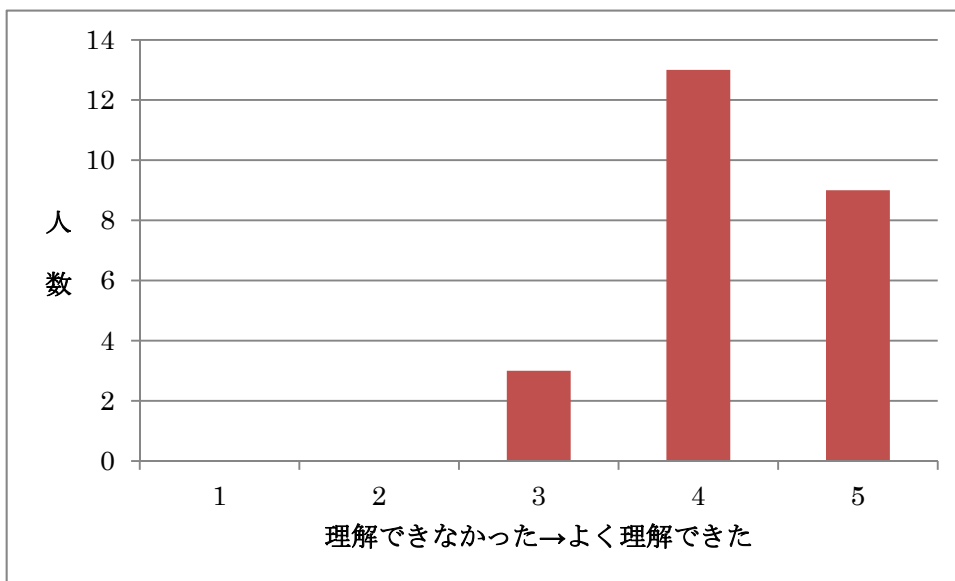
- 子どもたちの目線に立ってわかりやすく説明するところ。搾乳体験で直接手に触れさせ、温かさを体感させること。
- DVD も一つの参考にはなったが、その後多くの意見や考えを聞いたのが良かった、当然ながら三者三様の考え方があり、具体的なファシリテーターのイメージは定まらなかった。結果的にはイメージに縛られず、自分なりのファシリテーター像を模索していきたいと思えた。
- 小さい子供たちに楽しく、いろんな体験をしてもらうことが教育ファームだと思っていた。それもとても大事だと改めて気づかされた。衛生管理などの子どもたちを守るということも、教育ファーム、ファシリテーターの仕事だと思った。
- 酪農を通じて教えられる「いのち」の大切さを子供たちに伝える方法など、イベントなどで企画するとき役に立ちそうなことがいっぱい勉強になった。
- これからガイドをしていく上で伝えていけない点や伝えていきたい点が明確になった。
- 1日目のファシリテーターのイメージに関するグループディスカッションは、講師の方のアグレッシブな手法により、かなり内容に入り込めた。2日目の内容については、防疫対策は以前から強化に努めてきたが、喉元すぎればではないのですが、やはり時間の経過とともに緩んでしまっていると実感した。
- 衛生基準
- どのような体験をしているのか、体験学習をしてもらう時にどのようなことに気をつけるのか、受け入れるために必要なことや来場者への安全対策、動物たちの衛生対策、とても参考になった。
- 伝染病などの対策、手洗いの徹底、体験内容（今まで思いつかなかっようなこと）
- 様々な事例が聞けた。人とのつながりができた。

2. 今後も引き続き、研修会に参加したいと思いますか？

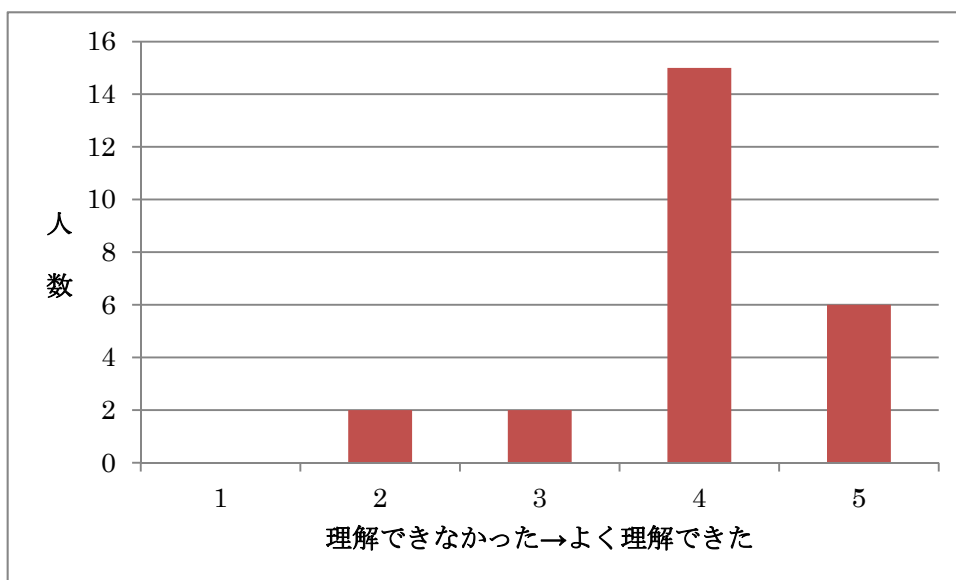


3. 認証研修会のプログラムについて、次のことをお聞かせください。

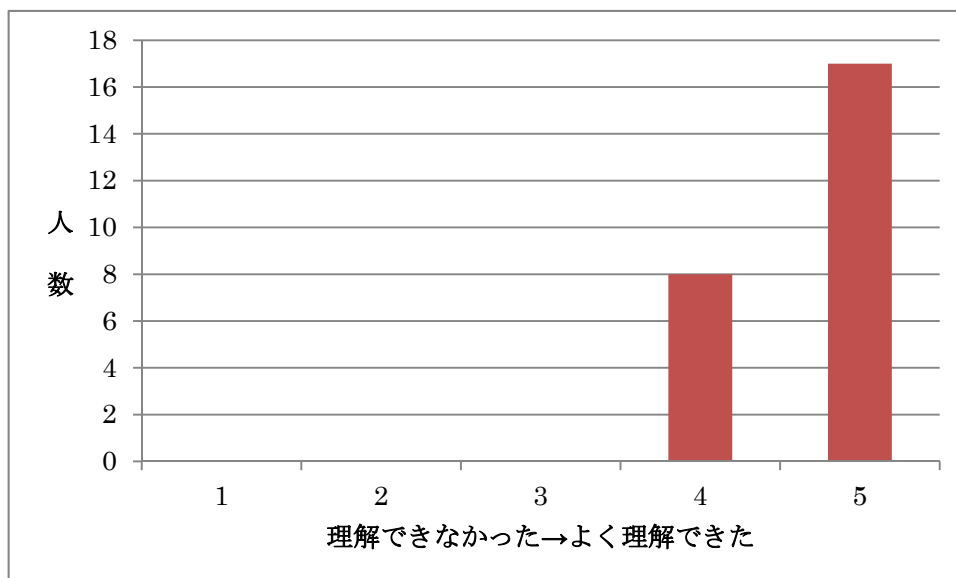
①酪農教育ファーム活動について内容は理解できましたか？



②「酪農教育ファームファシリテーターの役割」については、理解できましたか？

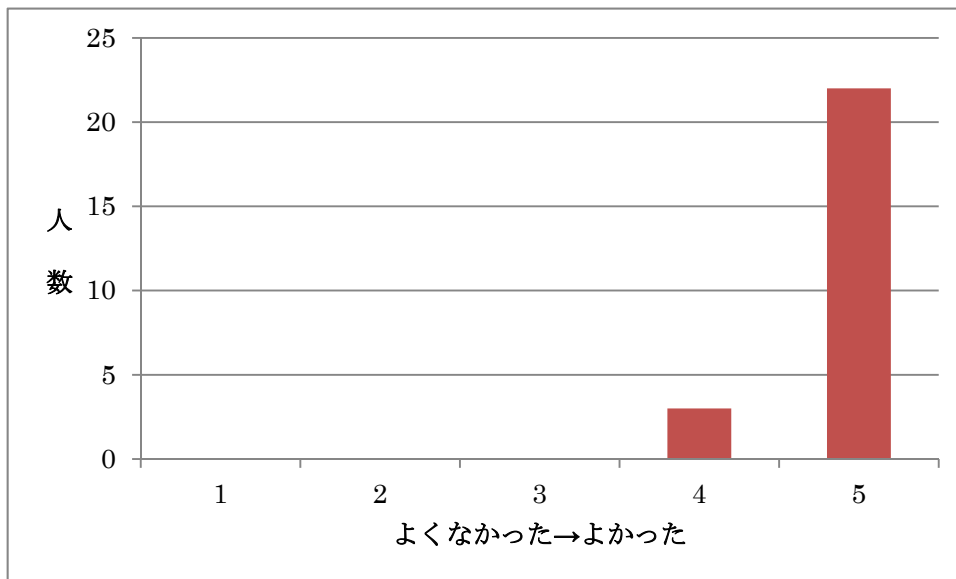


③「安全・衛生対策について」は理解できましたか？

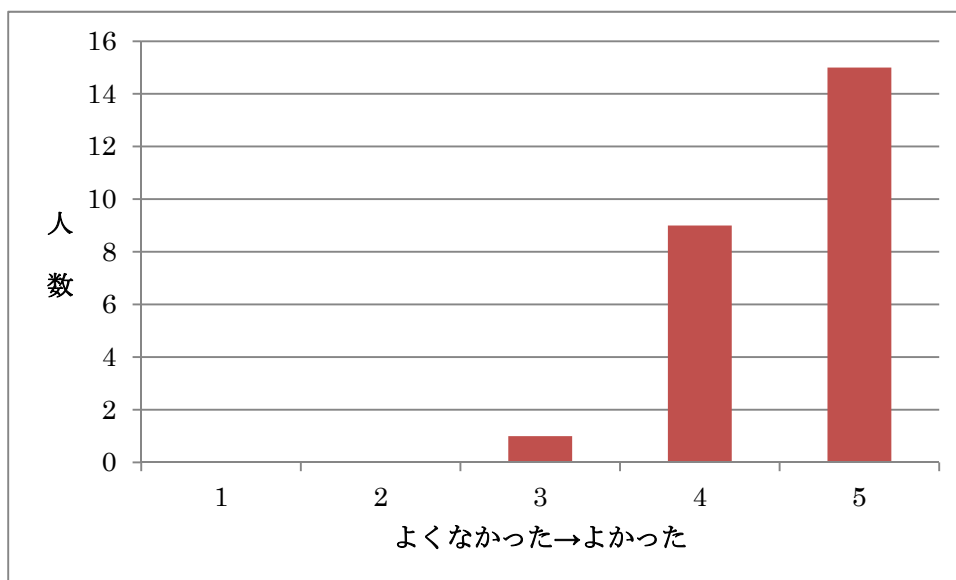


4. 研修会を受けられて、次のことについてお聞かせください。

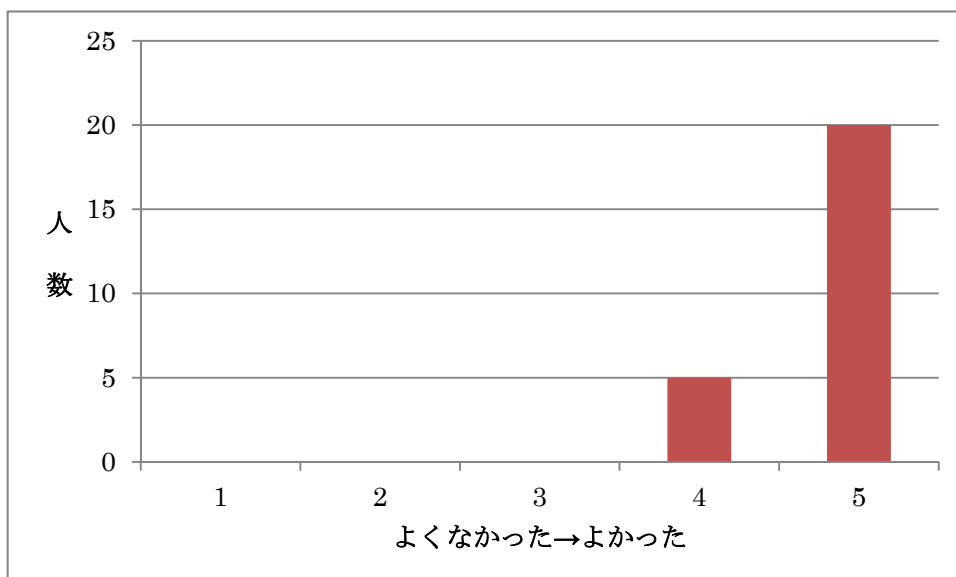
① 研修会の全体的な雰囲気は、よかったですか？



② 研修会のプログラムはよかったですか？



③ 研修会の運営は、よかったですか？



4. ①～③についてよかった理由、よくなかった理由をお聞かせください。

- ・1日目のディスカッションがとてもよかった。
- ・牧場従事者の若いネットワークができると良い。
- ・話が弾んで大変良かった。農場主の話を知りたい。1日目は農場で、2日目はホテルでできないか。
- ・安全、衛生対策をしっかりしなくてはと思った。
- ・ぼんやりとしたものが、少し説明できるようになった。
- ・さまざまな立場の人の話が聞けてよかった。知り合いが増えた。
- ・参加者の方々と沢山話せる時間があり、2日間でしたが自分の考え方が少し変わり、知識が増えた。勉強になることばかりで参加してよかった。
- ・最初は知らない人が多かったが、初日のゲームなどでかなり打ち解け、良い雰囲気になった。
- ・ただ話を聞くだけではなく、皆さんといろいろな意見などお話をできてよかった。
- ・全国の方と考えや交流ができてよかった。
- ・運営スタッフの対応が温かかった。山寄先生の話が面白かった。
- ・楽しく気さくな研修ができた。
- ・同じ職種や同じ思いの方々と研修を通して出会えてよかった。ファシリテーターの役割も理解でき、プログラムの流れもとてもよかった。1日目の後半にコミュニケーションの時間をとっていただけて、参加者の皆さんの話を聞けてよかった。
- ・やっぱり人に恵まれたと思った。来る前は知らない人のところに来るのが恐かったけど、明るい人たちばかりで楽しかった。
- ・初日の参加者同士の交流がその後の懇親会、2日目のプログラムに良い影響を与えたと思う。
- ・ファシリテーターとは何かという答えは見つからなかったが、酪農教育に必要なもの、自分で考えていたもの、その一部であって、安全・衛生の面でとても勉強になった。
- ・すごくいい企画構成だった。いのちをつなげるための厳しさも勉強になった。
- ・参加者全員が打ち解けあえるワークショップが良かった。
- ・酪農教育ファームファシリテーターを目指すメンバーと楽しい2日間を過ごせた。また、会場が研修、懇親、宿泊とセットになり、同じ建物内でできたことにより、スムーズかつ負担の少ない有意義な研修になった。
- ・たくさんの方と話せてとても勉強になった。ファシリテーターの役割は、どのようなことをしたらよいかまだよくわからないが、話を聞いたことがよかった。
- ・和気あいあい
- ・みんなの意見を聞くことと、情報交換をすることができた。

5. その他、ご意見やご要望等がございましたら、お書きください。

- ・今回の研修参加者が一人もかけることなく、スキルアップ更新に参加取れることを期待します。
- ・パンフレット、教材のデザイン、マスコットなどを統一してほしい。
- ・勉強になることばかりだったので、今回のことを農場に戻ってからも活かしたい。
- ・私の牧場らしい教育ファーム作りを目指し、先輩方の「来てくれる人が多ければ多いほど、きれいで良い牧場になる」という言葉を胸に、ファシリテーターの支援、牛や人を守るための消毒や手洗いの徹底ができる牧場に、主人と地域の方々と一緒に目指していく。
- ・今働いている場と今後自分のしてみたいことにしっかりと活かして参りたいと思う。実際に教育ファームをしている人の話を聞いたり、牧場に体験しに行きたい。
- ・実際に教育ファームをされているところで、自分たちが受けながら学ぶともっと現実的に学べるのではないかと思う。
- ・現場の視察をしてみたい。
- ・実務編など体験を通しての企画も、今後よろしくお願いします。
- ・交流会は着席で実施してほしい。若い方には酪農を楽しんでほしい。
- ・六甲山牧場にはテレビの取材も来られるので、安全・衛生面をもう少し気をつけようと思う。最初は緊張していたが、2日間楽しく研修ができた。
- ・保険について詳しく聞きたかった。
- ・ぜひチーズの研修会に参加したい。